

6.2.4 社会資本整備

(1) 交通

ア 道路・鉄道等の交通網及びその利用の状況

(ア) 道路

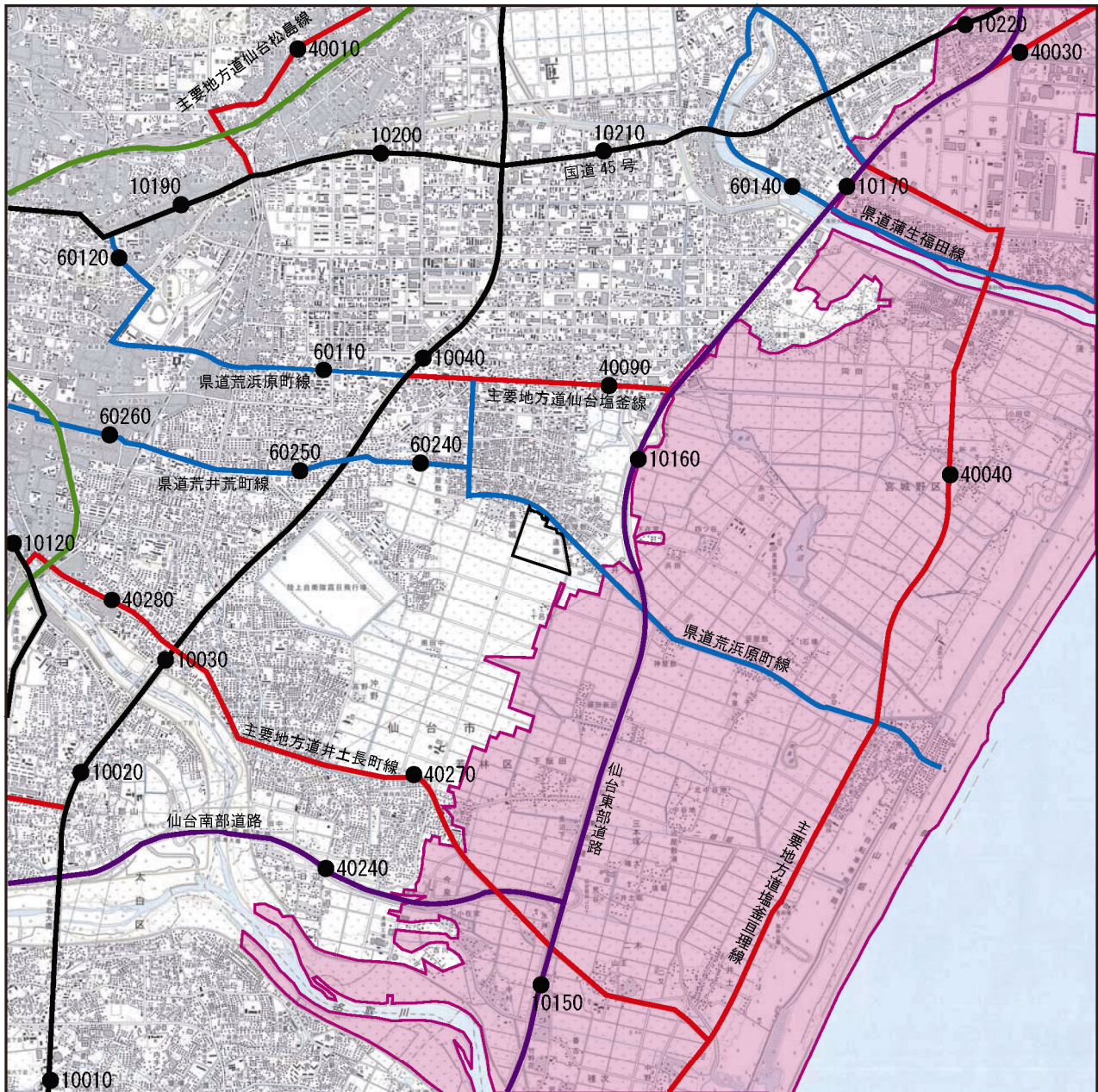
概況調査地域における主要な道路の状況及び交通量調査地点は図 6.2.4-1 に、調査結果は表 6.2.4-1 に示すとおりである。

概況調査地域における平成 22 年度の 12 時間交通量は、一般国道 4 号で 54,510 台（仙台市若林区卸町五丁目）、一般国道 45 号で 29,993 台（仙台市宮城野区五輪一丁目）となっている。

平成 11 年度から平成 17 年度までと、平成 17 年度から平成 22 年度までの 12 時間交通量の伸び率がいずれも 1.00 を超えるのは一般国道 6 号（仙台東部道路）（名取 IC～仙台若林 JCT）、一般国道 6 号（仙台東部道路）（仙台若林 JCT～仙台東 IC）及び主要地方道仙台塩釜線（仙台市若林区六丁の目）となっている。

事業予定地周辺における主要な道路は市道となっている。

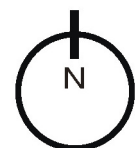
なお、事業予定地北側を県道荒浜原町線が通っている。県道荒浜原町線の平成 11 年度の 12 時間交通量は 5,475 台（仙台市若林区荒井字堀添）となっている。



出典 平成 22 年度道路交通センサス調査結果（国土交通省道路局）
 ※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ（2011.4.9）」を基に作成

凡 例

-  事業予定地
-  10010 交通量調査地点位置
-  高速自動車国道
-  一般国道
-  主要地方道
-  県道



縮尺 1/60,000



図 6.2.4-1 主要な道路・鉄道及び交通量調査地点

表 6.2.4-1 自動車交通量調査結果（平成 22 年度）

調査単位 区間 番号	路線名 観測地点名	昼間 12 時間 自動車類交通量 調査結果 (台)			24 時間 自動車 類交通 量 (台)	平成 17 年度昼 間 12 時 間自動車 類交通 量 (台)	12 時間交通量伸率	
		小型車	大型車	合計			H22/H17	H17/H11
10010	一般国道 4 号 仙台市太白区中田五丁目	32,080	4,649	36,729	53,257	34,105	1.08	0.95
10020	一般国道 4 号 仙台市太白区郡山五丁目	43,336	4,546	47,882	69,632	51,445	0.93	0.94
10030	一般国道 4 号 仙台市若林区若林四丁目	48,231	7,336	55,567	80,572	55,124	1.01	0.83
10040	一般国道 4 号 仙台市若林区卸町五丁目	46,959	7,551	54,510	75,730	52,651	1.04	0.97
10110	一般国道 4 号	17,682	1,706	19,388	27,531	23,953	0.81	1.28
10120	一般国道 4 号 仙台市太白区根岸町	15,069	1,161	16,230	22,722	19,761	0.82	0.87
10130	一般国道 4 号 仙台市太白区越路	41,131	2,160	43,291	60,607	19,761	2.19	0.87
10150	一般国道 6 号(仙台東部道路) 名取 IC~仙台若林 JCT	15,218	3,252	18,470	22,504	16,869	1.09	1.34
10160	一般国道 6 号(仙台東部道路) 仙台若林 JCT~仙台東 IC	20,167	6,333	26,500	33,149	20,723	1.28	1.34
10170	一般国道 6 号(仙台東部道路) 仙台東 IC~仙台港北 IC	15,450	3,765	19,215	23,682	12,791	1.50	—
10190	一般国道 45 号 仙台市宮城野区五輪一丁目	27,631	2,362	29,993	41,090	32,332	0.93	1.06
10200	一般国道 45 号 仙台市宮城野区南目館	25,761	2,510	28,271	39,167	28,088	1.01	0.98
10210	一般国道 45 号 仙台市宮城野区扇町一丁目	27,435	5,269	32,704	44,610	36,341	0.90	0.98
10220	一般国道 45 号 仙台市宮城野区中野字柳原	27,837	3,010	30,847	42,750	27,528	1.12	0.92
40010	主要地方道仙台松島線	23,675	1,700	25,375	34,003	26,679	0.95	1.04
40030	主要地方道塩釜亘理線 仙台市宮城野区中野字四反田	24,784	3,840	28,624	36,352	28,618	1.00	1.04
40040	主要地方道塩釜亘理線 仙台市宮城野区岡田字新浜中道	7,534	5,437	12,971	18,319	14,630	0.89	1.04
40090	主要地方道仙台塩釜線 仙台市若林区六丁目の目	30,244	4,619	34,863	45,725	32,833	1.06	1.01
40240	仙台南インター線 長町 IC~今泉 IC	11,992	2,182	14,174	17,481	14,930	0.95	1.42
40270	主要地方道井土長町線 仙台市若林区上飯田四丁目	6,084	545	6,629	8,551	5,921	1.12	0.95
40280	主要地方道井土長町線 仙台市若林区若林二丁目	11,879	660	12,539	17,373	15,626	0.80	0.97
60110	一般県道荒浜原町線 仙台市若林区大和町四丁目	27,558	3,348	30,906	39,869	26,915	1.15	0.97
60120	一般県道荒浜原町線 仙台市宮城野区五輪一丁目	5,677	463	6,140	7,921	7,690	0.80	0.86
60140	一般県道蒲生福田線	4,811	413	5,224	6,634	5,431	0.96	0.90
60240	一般県道荒井荒町線	8,076	461	8,537	11,013	8,976	0.95	0.77
60250	一般県道荒井荒町線	10,500	553	11,053	14,258	11,621	0.95	0.96
60260	一般県道荒井荒町線 仙台市若林区三百人町	8,800	548	9,348	12,059	11,099	0.84	1.06

出典：平成 22 年度道路交通量調査総括表（宮城県）

(イ) 鉄道

概況調査地域における鉄道は、JR 東北本線、仙山線、仙石線、仙台市営地下鉄南北線の 4 路線が運行している。各駅の乗降客数の推移は、表 6.2.4-2 のとおりで、平成 17 年度から 21 年度までの 5 年間で毎年乗降客数が伸びているのは、JR 仙石線の小鶴新田駅及び陸前高砂駅、毎年乗降客数が減少しているのは、地下鉄南北線の河原町駅となっている。その他の駅では増減を繰り返している。

事業予定地に鉄道はないが、事業予定地の中心部より約 1.0km の位置で地下鉄東西線の整備が進められている。

表 6.2.4-2 鉄道等の利用状況（一日平均乗車人員）

区分	駅	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
JR 東北本線	東仙台	3,351	3,270	3,277	3,253	3,159
JR 仙石線	榴ヶ岡	2,579	2,505	2,626	2,654	2,681
	宮城野原	5,580	5,478	5,701	5,772	5,648
	陸前原町	3,644	3,566	3,637	3,618	3,538
	苦竹	2,502	2,414	2,407	2,384	2,420
	小鶴新田	3,428	4,046	4,698	5,279	5,367
	福田町	4,028	4,075	3,928	3,886	3,676
	陸前高砂	4,603	4,670	4,671	4,849	4,859
	中野栄	3,742	3,679	3,733	4,221	4,321
地下鉄 南北線	河原町	4,511	4,429	4,308	4,291	4,217
	長町一丁目	2,980	3,016	3,016	2,847	2,767

出典：仙台市統計書「平成 22 年版」（仙台市）

イ 交通網の整備状況

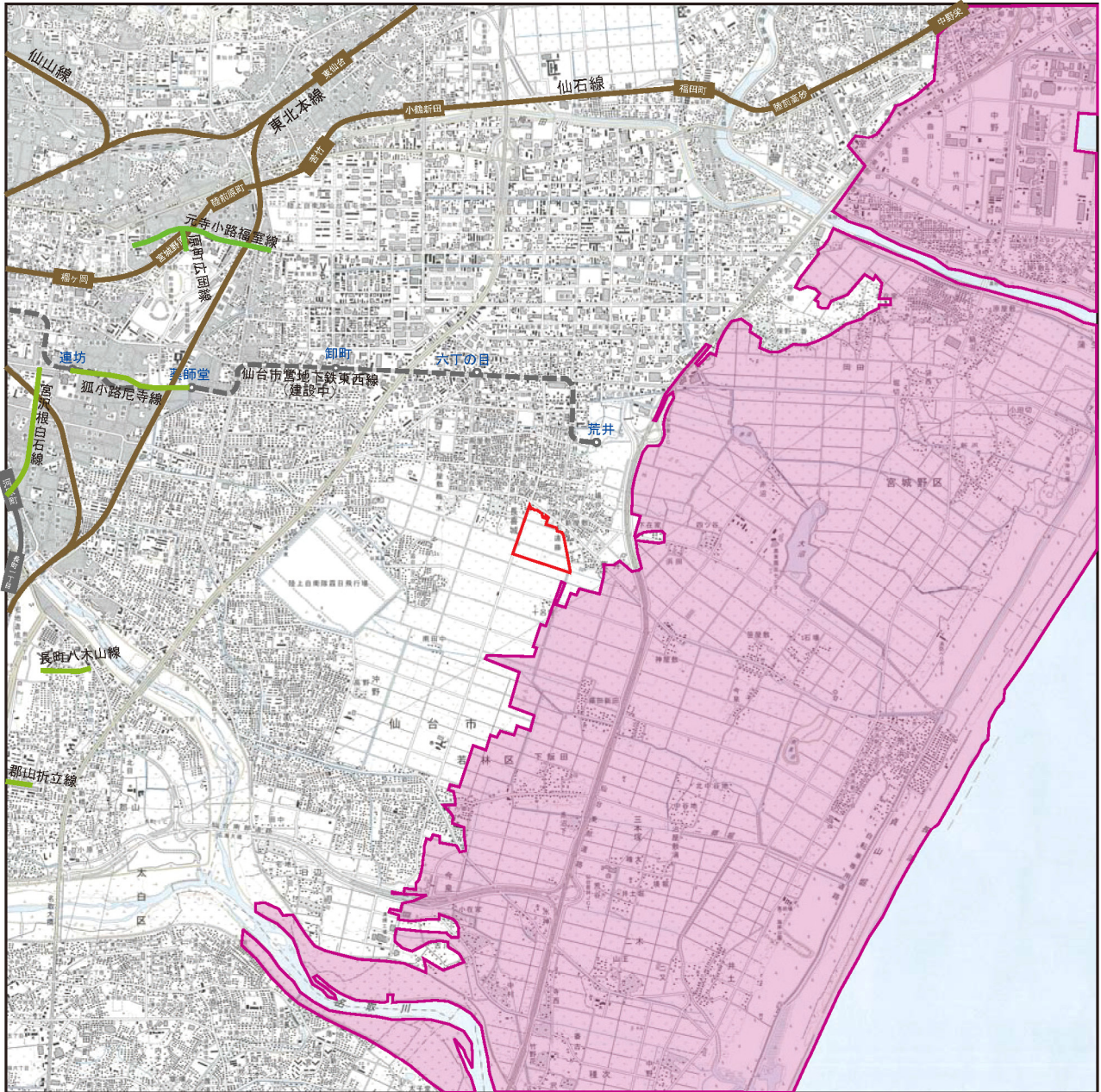
概況調査地域のほぼ中央で地下鉄東西線の整備が行われている。

事業予定地に最も近い駅は（仮称）荒井駅で、事業予定地の中心より約 1.0km の位置にある。なお、（仮称）荒井駅は地上駅で、東西線車両基地が隣接地に整備される。開業予定は平成 27 年度を予定している。

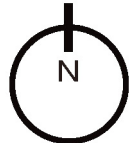
地下鉄東西線は、南西部の八木山動物公園付近から都心部の仙台駅付近を経て、仙台東部道路の東インターチェンジ付近に至る約 13.9km の路線である。

仙台駅から東側は、既存の住宅地が続く新寺、連坊、薬師堂を経由し、卸町地区や東部流通業務地区を経て、東部道路の東インターチェンジがある荒井地区に至るルートとなる（仙台市東西線沿線まちづくり課ホームページより引用）。

なお、概況調査地域では 6 路線の都市計画道路が 5 年以内事業予定工区となっている（仙台市道路計画課ホームページ（仙台市総合道路整備計画）より引用）。



出典: 仙台市営地下鉄東西線は仙台市東西線沿線まちづくり課ホームページ
 都市計画道路(5年以内(平成18年~22年))事業予定工区は仙台市道路計画課ホームページ
 (仙台市総合道路整備計画)
 ※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ
 (2011.4.9)」を基に作成



縮尺 1/60,000



凡例







-  事業予定地
-  都市計画道路 (5年以内(平成18年~22年))
事業予定工区)
-  JR
-  仙台市営地下鉄南北線
-  仙台市営地下鉄東西線
-  浸水区域

図6.2.4-2 交通網の整備状況図

(2) 上水道・下水道

ア 上水道・下水道の整備の状況

概況調査地域の全域が給水区域となっている。下水道は、概況調査地域のうち概ね市街化区域と荒浜地区が処理区域となっている。

また、農業集落排水事業により、笹屋敷地区、藤田地区、四ッ谷地区、小在屋地区、井土地区、三本塚地区、下飯田地区、藤塚地区が下水道の処理区域となっている。

事業予定地は既存家屋等が下水道の処理区域となっている。

イ 将来計画等

「仙台市水道事業基本計画」によると、社会経済状況の変化や水道利用者の節水意識の定着などを背景として、近年の水需要の伸びは鈍化してきており、将来とも大幅に増加することは見込まれない状況であるとされる。

また、水源水量については、これまでの取り組みの結果、需要を十分に賄い得るだけの水量が確保されており、当面、新たな水源開発は必要とされない状況であるとされる。

こうした背景を受け、同計画においては、計画年度である平成 21 年度における計画値として、行政区域内人口 1,112,600 人、給水区域内人口 1,116,200 人（富谷町を含む）、給水人口 1,116,100 人（富谷町を含む）、給水普及率 100%、一日最大給水量 523,200 m³としている。参考：「仙台市水道事業基本計画」（平成 12 年 3 月 仙台市水道局）

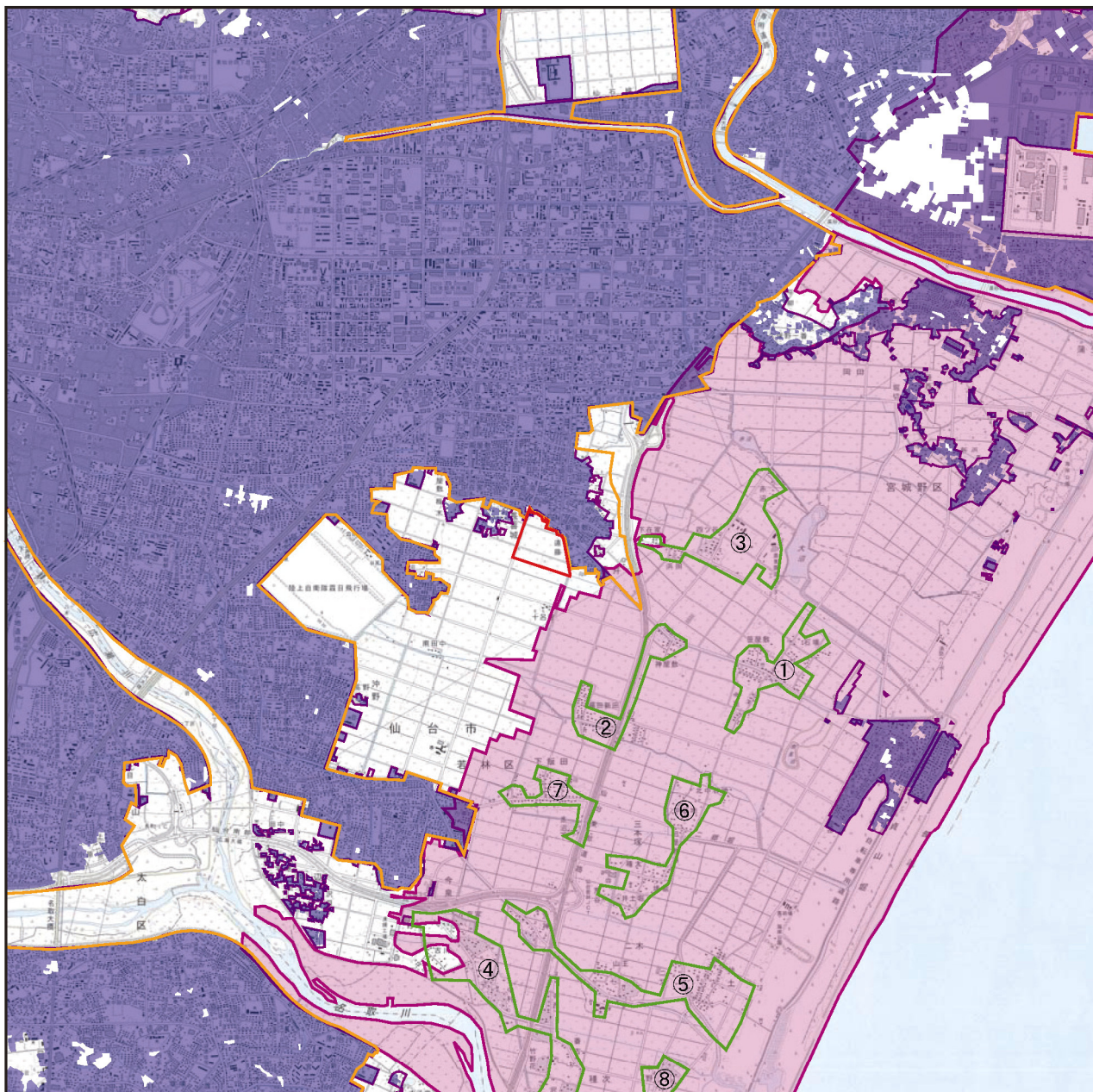
また、仙台市の下水道事業は、平成 13 年に定められた「仙台市下水道基本計画」に基づいて進められている。「仙台市下水道基本計画」は、仙台市全体の計画である「仙台市基本構想」や「仙台市基本計画」を下水道の仕事を通じて実現するために定められたもので、計画の目標年度を平成 32 年として、表 6.2.4-3 に示すとおり、これからの下水道が目指す方向性と目標が定められている。

なお、本事業により、事業予定地の全域が下水道の処理区域となる。

表 6.2.4-3 下水道が目指す方向性







方向性	目標	施策
衛生的で快適な生活の実現	市域内全戸の汚水を処理し、未処理区域を解消する	汚水の適正処理の推進
雨に強い街づくり	52mm/h の大雨（10 年に 1 回）に対して浸水区域の解消を図り、将来的には整備水準の向上を図る	総合的な雨水対策の推進
健全な水循環の形成	合流式下水道の未処理汚水の越流解消を目指し、段階的に越流量の削減を図る	合流式下水道における雨天時越流水対策の推進
防災機能の向上	大地震発生時における最低限の下水道の機能を確保する	耐震対策の強化
都市機能の維持	下水道の機能を永続的に確保する	施設の適切な運用 計画的な維持更新
循環システムの構築	循環型社会の構築に貢献する	資源・施設の有効利用

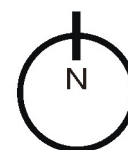
出典：仙台市下水道ホームページ



出典：処理区域は仙台市都市計画情報インターネット提供システム（平成22年9月現在）
 計画区域は仙台市水道事業長期計画（平成18年8月）
 集落排水は仙台農業振興地域整備計画書（平成21年11月）
 ※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ（2011.4.9）」を基に作成

凡例

- | | | | |
|---|-------|---|----------|
|  | 事業予定地 |  | 農業集落排水事業 |
|  | 計画区域 | | ① 笹屋敷 |
|  | 処理区域 | | ② 藤田 |
|  | 市街化区域 | | ③ 四ツ谷 |
|  | 浸水区域 | | ④ 小在屋 |
| | | | ⑤ 井土 |
| | | | ⑥ 三本塚 |
| | | | ⑦ 下飯田 |
| | | | ⑧ 藤塚 |



縮尺 1/60,000



図 6.2.4-3 仙台市の下水道整備状況

(3) 廃棄物処理施設等

ア 廃棄物処理施設の整備の状況

概況調査地域での産業廃棄物中間処理施設、ごみ処理施設の整備の状況は表 6.2.4-4～表 6.2.4-6 のとおりである。

事業予定地にはこれらの施設は存在しない。

表 6.2.4-4 産業廃棄物中間処理施設の整備の状況

番号	許可業者名	施設の設置場所
1	鈴木工業(株)	仙台市若林区卸町東 5-3-28
		仙台市若林区卸町東 4-4-25
2	(株)青葉環境保全	仙台市宮城野区蒲生 1-6-1
3	協業組合仙台清掃公社	仙台市宮城野区日の出町 1-7-10
		仙台市宮城野区扇町 2-3-40
		仙台市宮城野区扇町 1-6-35
		仙台市宮城野区扇町 1-6-21
4	(株)皆川紙業	仙台市若林区鶴代町 5-4
5	相田化学工業(株)	仙台市若林区六丁の目北町 4-3
6	大和工業(株)	仙台市若林区荒浜字北長沼 24-13
7	松田産業(株)	仙台市宮城野区日の出町 1-1-13
8	全環衛生事業協同組合	仙台市若林区荒浜字北長沼 1-2
9	宮城第一メタル(株)	仙台市宮城野区扇町 3-1-41
10	田中産業(株)	仙台市若林区荒浜字南長沼 14-20
11	大成ロテック(株)	仙台市若林区卸町東 5-1-36
12	(株)鈴木興業	仙台市若林区六丁目字柳堀南 66-2
13	鳥羽建設工業(株)	仙台市宮城野区扇町 3-6-6
14	東北黒沢建設工業(株)	仙台市若林区卸町東 4-4-28
15	(株)宮城公害処理	仙台市若林区三本塚字荒谷 85
16	(株)鎌田建設	仙台市宮城野区扇町 3-4-2
17	(株)エス・ケイ・ディ	仙台市宮城野区日の出町 3-5-4
18	(株)ミカド金属	仙台市宮城野区扇町 1-6-30
19	(株)秋山建材	仙台市若林区荒浜字北長沼 24-79
20	(株)サイコー	仙台市宮城野区蒲生 2-2-1
21	(有)大久保工業	仙台市若林区荒浜字谷地中林 1-1
22	(株)コウユウ	仙台市若林区荒浜字北長沼 1-2
23	(株)大久保産業	仙台市宮城野区蒲生字竹ノ内 196-1
24	(株)佐彦	仙台市宮城野区扇町 5-4-7
25	(有)仙台福祉清掃社	仙台市若林区六丁の目西町 7-24
		仙台市若林区卸町 4-3-1 (仙台市中央卸売市場内)
26	(株)クリーンタグチ	仙台市若林区鶴代町 4-31
27	(株)吉川産業	仙台市宮城野区中野字新沼 47-1
28	(有)東部総業	仙台市若林区今泉字古川 106
29	オデッサ・テクノス(株)	仙台市宮城野区扇町 7-1-31
		仙台市宮城野区扇町 7-4-3
30	ジャイワット(株)	仙台市宮城野区中野字四反田 18-3
31	(有)ミヤショウ	仙台市若林区荒浜字北長沼 24-13
32	梶原電気(株)	仙台市若林区六丁の目元町 13-16
33	(株)ログ	仙台市宮城野区扇町 6-2-2
34	(株)港金属	仙台市宮城野区中野字下小袋田 16-4
35	(株)吉田レミコン	仙台市宮城野区扇町 4-1-29

※東北地方太平洋沖地震による浸水の影響があった処理施設がみられる

出典：仙台市産業廃棄物処理業者名簿（仙台市廃棄物指導課 平成 22 年 4 月 1 日現在）

表 6.2.4-5 特別管理産業廃棄物中間処理施設の整備の状況

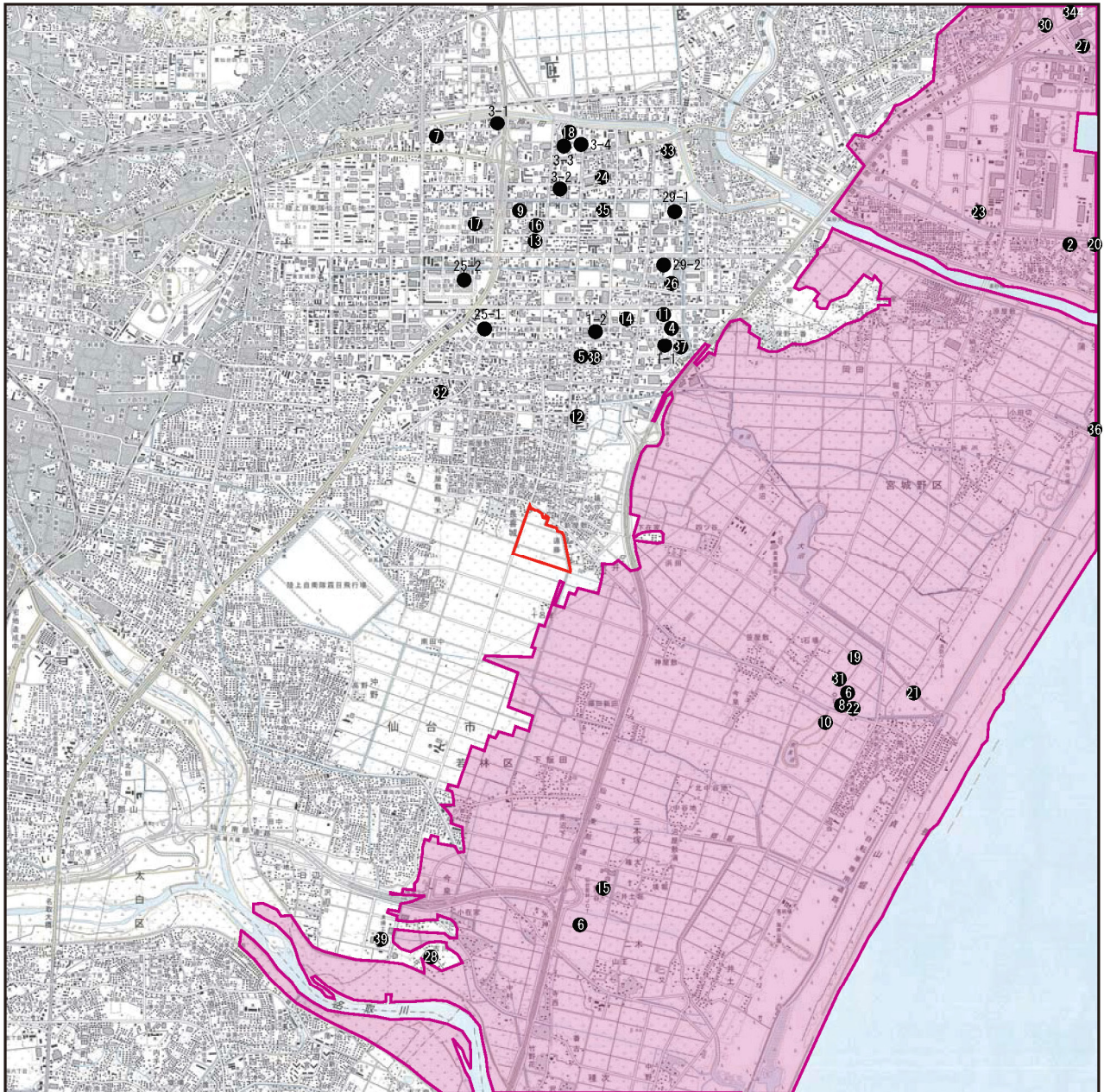
番号	許可業者名	施設の設置場所
36	東北油化工業(株)	仙台市宮城野区蒲生字八郎兵衛谷地第二 112-10
37	鈴木工業(株)	仙台市若林区卸町東 5-3-28
38	相田化学工業(株)	仙台市若林区六丁の目北町 4-3

出典：仙台市産業廃棄物処理業者名簿（仙台市廃棄物指導課 平成 22 年 4 月 1 日現在）

表 6.2.4-6 ごみ処理施設の整備の状況

番号	施設の名称	施設の設置場所
39	今泉工場	仙台市若林区今泉上新田 103

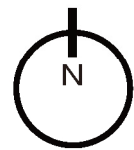
出典：仙台市ホームページ（市の施設>ごみ処理施設・下水道施設など）



出典：仙台市産業廃棄物処理業者名簿（仙台市廃棄物指導課 平成 22 年 4 月 1 日現在）
 ※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ（2011.4.9）」を基に作成
 ※東北地方太平洋沖地震による浸水の影響があった処理施設がみられる

凡 例

- 事業予定地
- 浸水区域
- 廃棄物処理施設



縮尺 1/60,000



※図中の番号は、表6.2.4-4～表6.2.4-6に対応する。

図 6.2.4-4 産業廃棄物中間処理施設

イ その他、関連する社会資本の整備状況等

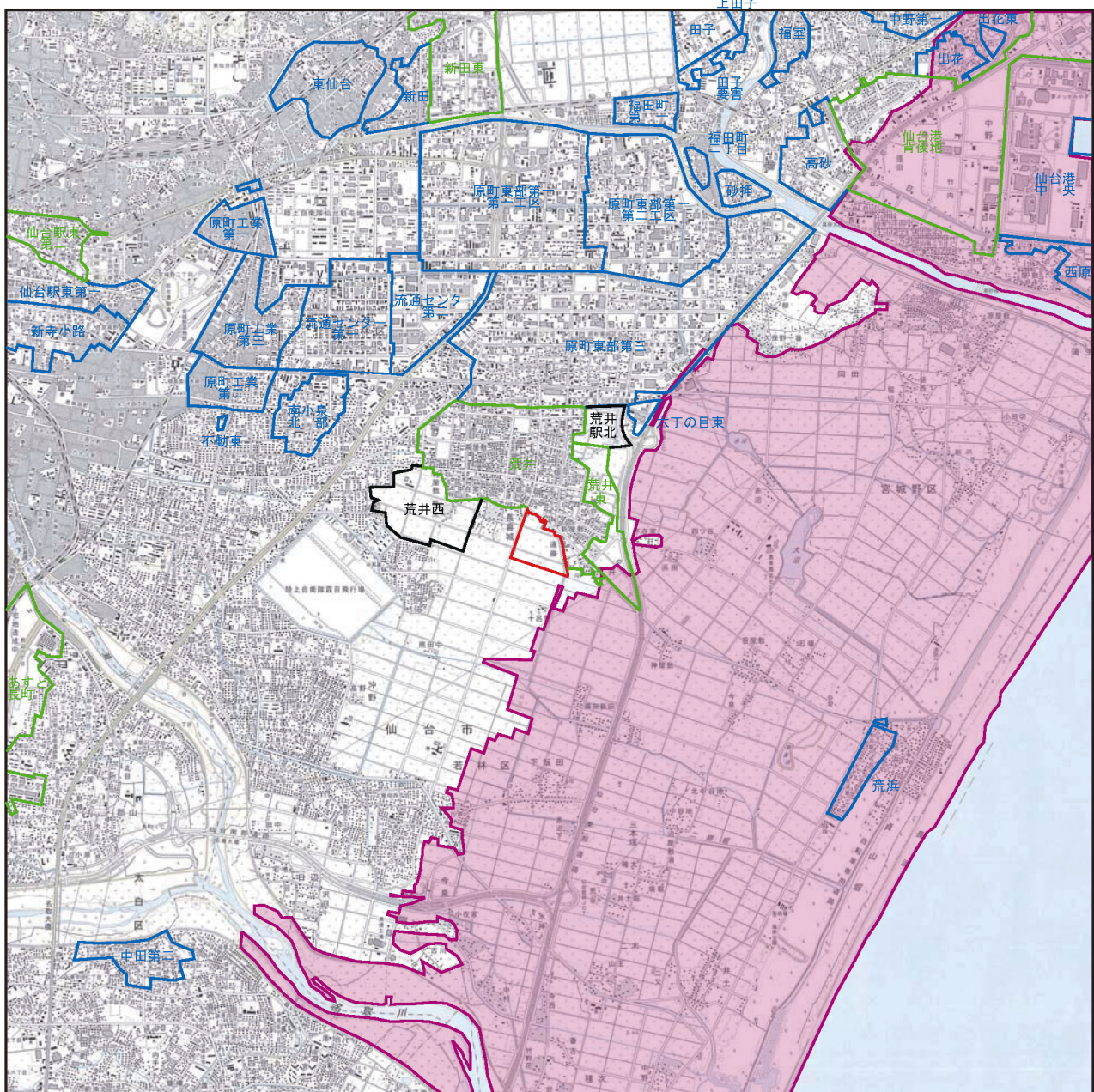
(ア) 土地区画整理事業などの状況

概況調査地域における土地区画整理事業の整備状況は、表 6.2.4-7 及び図 6.2.4-5 に示すとおりであり、平成 22 年 3 月現在では荒井（公共団体施行）、仙台駅東第二（公共団体施行）、仙台港背後地、あすと長町（都市再生機構施行）、新田東、荒井東で施行されている。

表 6.2.4-7 土地区画整理事業などの整備状況

区分	番号	地区名	面積(ha)	施行期間(年度)	
仙台市	施行済	15	原町工業第一	26.7	昭和 16 年～昭和 26 年
		16	原町工業第二	32.4	昭和 16 年～昭和 26 年
		17	原町工業第三	60.7	昭和 16 年～昭和 50 年
		18	原町東部第一第一工区	214.2	昭和 41 年～昭和 47 年
		19	流通センター第一	85.5	昭和 42 年～昭和 51 年
		20	流通センター第二	60.1	昭和 46 年～昭和 50 年
		22	原町東部第一第二工区	138.3	昭和 45 年～昭和 51 年
		23	新寺小路	60.4	昭和 35 年～平成 2 年
		24	原町東部第三	298.6	昭和 49 年～平成 5 年
		25	仙台駅東第一	55.8	昭和 48 年～平成 8 年
		28	仙台港中央	401.1	昭和 49 年～昭和 53 年
		34	東仙台	54.2	昭和 7 年～昭和 10 年
		35	福田町二丁目	3.0	昭和 44 年～昭和 46 年
		37	福田町第一	15.2	昭和 43 年～昭和 46 年
		38	新田	24.3	昭和 43 年～昭和 49 年
		40	南小泉北部	32.8	昭和 44 年～昭和 49 年
		43	中野第一	30.3	昭和 47 年～昭和 52 年
		47	砂押	8.7	昭和 49 年～昭和 54 年
		48	西原	63.4	昭和 50 年～昭和 55 年
		54	不動東	1.4	昭和 54 年～昭和 57 年
		55	荒浜	20.1	昭和 53 年～昭和 57 年
		56	上田子	11.9	昭和 54 年～昭和 58 年
		58	田子要害	9.1	昭和 55 年～昭和 59 年
		64	出花	18.8	昭和 56 年～昭和 62 年
		65	中野第二	4.0	昭和 59 年～昭和 62 年
		70	福室	16.7	昭和 57 年～平成 2 年
		78	高砂	45.1	昭和 58 年～平成 5 年
		84	中田第二	20.2	平成 1 年～平成 8 年
	88	田子	31.8	平成 5 年～平成 9 年	
	97	六丁の目東	7.7	平成 9 年～平成 13 年	
	14	出花東	3.0	平成 16 年～平成 19 年	
	施行中	1	荒井	149.9	昭和 61 年～平成 27 年
		2	仙台駅東第二	45.3	昭和 63 年～平成 25 年
3		仙台港背後地	258.5	平成 3 年～平成 23 年	
5		あすと長町	82.0	平成 9 年～平成 27 年	
7		新田東	61.6	平成 6 年～平成 22 年	
	109	荒井東	33.7	平成 21 年～平成 27 年	

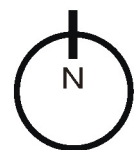
出典：仙台市の区画整理（仙台市区画整理課）



仙台市の区画整理（仙台市区画整理課）をもとに作成した
 ※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ
 (2011. 4. 9)」を基に作成

凡 例

- 事業予定地
- 土地区画整理事業施行地区（施行済）
- 土地区画整理事業施行地区（施行中）
- 特定保留地区
- 浸水区域



縮尺 1/60,000



図 6.2.4-5 土地区画整理事業の整備状況図

(イ) 工業用水道の整備状況

概況調査地域には、図 6.2.4-6 に示すとおり、仙塩工業用水道、仙台圏工業用水道がある。

仙塩工業用水道は、仙塩特定地域総合開発計画の一環として、昭和 32 年度から昭和 38 年度までの 7 か年間で建設されたもので、昭和 36 年 11 月から仙塩地区へ給水を開始している。昭和 39 年、仙塩地区を含む仙台湾地区が新産業都市に指定され、昭和 46 年の仙台港開港等により工業導入も急速に進展し、本工業用水道はそれらの地域開発に大きく寄与してきた。

また、地盤沈下が顕著な仙台市苦竹地区等においては、地下水に代わる水源としての大きな役割を果たしている。本工業用水道は、建設後相当の期間を経過し、配水管等の老朽化が著しくなったことから、昭和 49 年度から昭和 63 年度の 15 ヶ年間で改築工事を実施し、また平成元年度から建設を進めてきた仙台市泉地区及び富谷町成田地区への給水地域の拡張工事も平成 5 年度に終了し、平成 6 年 4 月 1 日から給水を開始した。

仙台圏工業用水道は、仙台港背後地の工業開発により既設の仙塩工業用水道事業のみでは需要に応ずる余力がなくなることが見込まれたことから、昭和 47 年度から昭和 51 年度までの 5 か年間で建設されたもので、昭和 51 年 10 月 1 日から給水を開始している。

仙台港背後地に立地する「石油精製、都市ガス、火力発電、鉄鋼関連、ビール製造」の企業等のほか、名取市及び利府町の企業にも給水しており、一日最大 100,000 立方メートルの供給能力を持っている。

表 6.2.4-8 工業用水道の整備状況

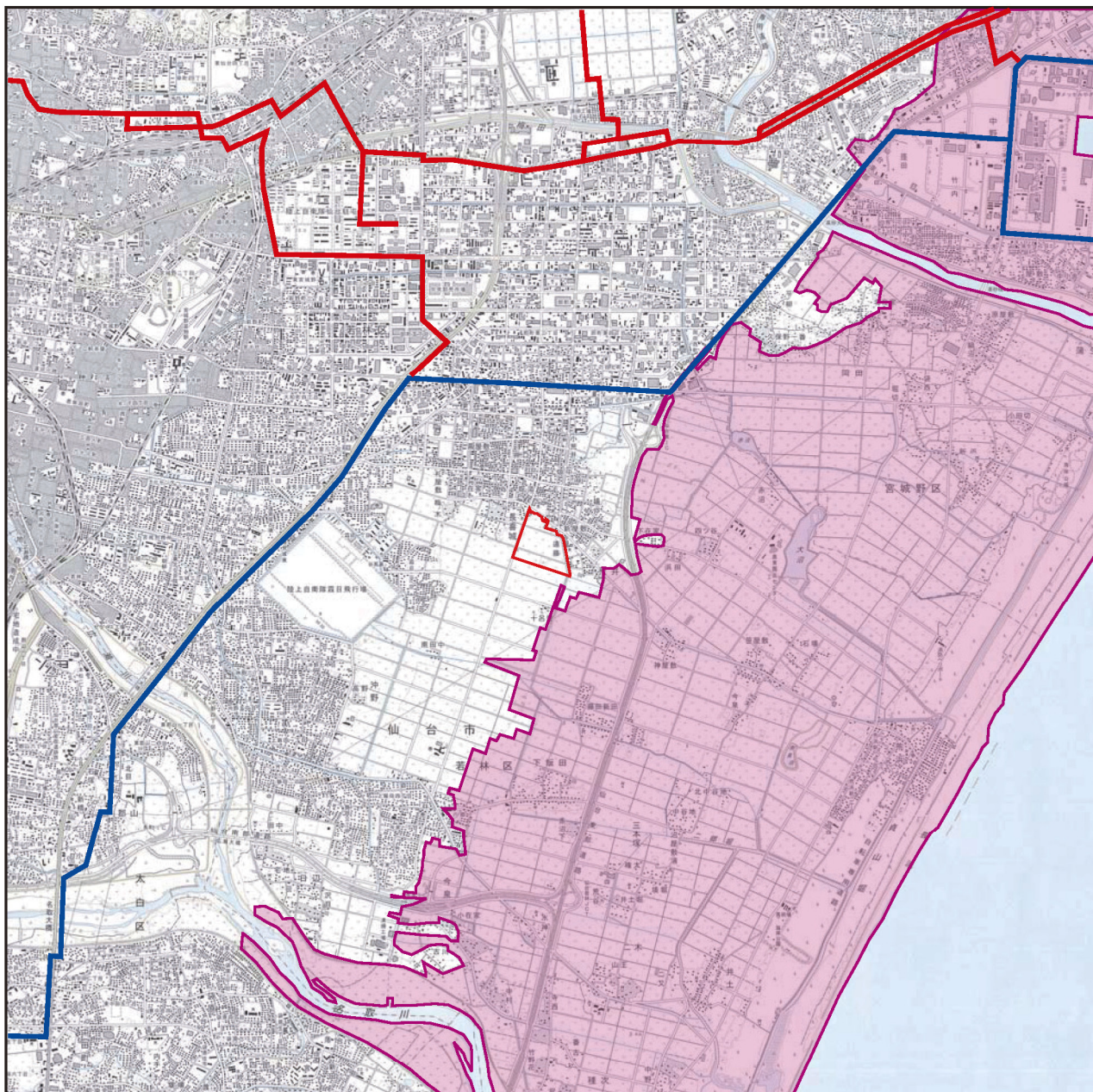
水 源	一級河川名取川水系大倉川 (大倉ダム)
取 水	広瀬川四ツ谷堰 (仙台市青葉区折立郷六) 大倉ダム放流水 一日最大 100,000 立方メートル
給水能力	一日最大 100,000 立方メートル
水 質	(水温) 摂氏 1 度～25 度 (濁度) 10 度以下 (水素イオン濃度) PH6.0～8.0 (総硬度) 120mg / リットル 以下
給水区域	仙台市・塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町・富谷町・大和町

出典：宮城県企業局水道経営管理室資料

表 6.2.4-9 工業用水道の整備状況

水 源	一級河川名取川水系碁石川 (釜房ダム)
取 水	名取川頭首工 (名取市高館熊野堂) 釜房ダム放流水 (取水量) 一日最大 100,000 立方メートル
給水能力	一日最大 100,000 立方メートル
水 質	原水供給
給水区域	仙台市・多賀城市・七ヶ浜町・名取市・利府町

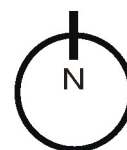
出典：宮城県企業局水道経営管理室資料



出典：宮城県企業局水道経営管理室資料
 ※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ
 (2011.4.9)」を基に作成

凡 例

-  事業予定地
-  仙塩工業用水道
-  仙台圏工業用水道
-  浸水区域



縮尺 1/60,000



図 6.2.4-6 工業用水道の整備状況図

(ウ) 農業生産基盤等の整備状況

概況調査地域における農業生産基盤等の整備状況は、表 6.2.4-10、図 6.2.4-7 に示すとおりである。

また、土地基盤整備開発計画は表 6.2.4-11、農業近代化施設整備計画は表 6.2.4-12、表 6.2.4-15 に、農村生活環境施設整備状況は表 6.2.4-13、農村生活環境施設整備計画は表 6.2.4-14 に示すとおりである。

事業予定地は、県営ほ場整備事業（七郷）の受益地に含まれている。

東日本大震災からの復旧・復興に向けては、「仙台市基本計画」及び「仙台市震災復興計画」を上位計画とし、その実施計画の中で、重点的な取り組みとし、東部地区を農業が生長力のある産業に生まれ変わる拠点と位置づけ、農業の担い手が将来に夢を持って安全・安心な新しい食のあり方を提案していく「農と食のフロンティアプロジェクト」を示している。

表 6.2.4-10 農業生産基盤の整備状況

番号	事業名	地区名	受益面積	事業費	事業内容	事業主体	開始	終了
1	第1次農業構造改善事業	鍋沼	88.6	72,800	区画整理 88.6ha	鍋沼共同施行	昭和44年	昭和44年
2	第1次農業構造改善事業	萩袋	33.2	26,070	区画整理 33.2ha	萩袋共同施行	昭和44年	昭和44年
3	県営ほ場整備事業	七郷第三	374	3,149,000	区画整理 374.0ha	宮城県	昭和55年	平成3年
4	団体営かんがい排水事業	南蒲生	510	733,600	排水機 3、樋門 4、水路 3,150m	仙台市	昭和51年	昭和61年
5	県営湛水防除事業	田子	122.4	940,000	排水機場	宮城県	昭和63年	平成4年
6	県営土地改良総合整備事業	鍋沼	70	594,763	用排水路工 12,101m	宮城県	平成1年	平成7年
7	小規模排水対策特別事業	原田	10	57,310	区画整理 10.0ha	七郷土地改良区	昭和56年	昭和57年
8	県営ほ場整備事業	七郷	493	2,420,520	区画整理 493ha	宮城県	昭和46年	昭和58年
9	県営ほ場整備事業	七郷第二	427	2,549,000	区画整理 427.0ha	宮城県	昭和48年	昭和60年
10	団体営かんがい排水事業	二郷堀	562	512,545	排水機 2、樋門 1、水路 2,027m	仙台市	昭和41年	昭和48年

出典：仙台農業振興地域整備計画書 平成 21 年 11 月

表 6.2.4-11 土地基盤整備開発計画

番号	事業の種類	事業の概要	受益地区	受益面積
1	排水改良	排水機場	高砂南部	500ha
2	ほ場整備	区画整理	六郷	450ha
3	農道整備	道路改良	六郷	—
4	用排水改良	用排水路改良	七郷	—
5	用排水改良	用排水路改良	六郷	—
6	用水改良	水質保全	赤沼	12ha

出典：仙台農業振興地域整備計画書 平成 21 年 11 月

表 6.2.4-12 農業近代化施設整備計画

番号	事業の種類	事業の概要	受益地区	受益面積
1	共同処理加工貯蔵施設	大豆共同乾燥調製施設	七郷	150ha
2	共同処理加工貯蔵施設	大規模乾燥調製施設	六郷	300ha
3	共同栽培管理施設	育苗センター	七郷	—

出典：仙台農業振興地域整備計画書 平成 21 年 11 月

表 6.2.4-13 農村生活環境施設整備状況

番号	事業名	地区名	受益面積	事業費	事業内容	事業主体	開始	終了
1	農業集落排水事業	笹屋敷	13	752,000	計画人口：570人、計画戸数：124戸、管路：3.3km	仙台市	昭和63年	平成3年
2	農業集落排水事業	藤田	17	1,049,000	計画人口：1,090人、計画戸数：234戸、管路：4.6km	仙台市	平成元年	平成4年
3	農業集落排水事業	四ッ谷	22	1,405,000	計画人口：1,210人、計画戸数：61戸、管路：4.2km	仙台市	平成5年	平成7年
4	農業集落排水事業	小在屋	23	1,141,000	計画人口：880人、計画戸数：188戸、管路：7.1km	仙台市	昭和62年	平成3年
5	農業集落排水事業	井土	60	2,339,000	計画人口：900人、計画戸数：196戸、管路：9.4km	仙台市	平成4年	平成7年
6	農業集落排水事業	三本塚	13	1,377,000	計画人口：530人、計画戸数：108戸、管路：5.2km	仙台市	平成5年	平成7年
7	農業集落排水事業	下飯田	12	1,231,000	計画人口：630人、計画戸数：131戸、管路：4.0km	仙台市	平成6年	平成9年
8	農業集落排水事業	藤塚	14	1,158,000	計画人口：570人、計画戸数：131戸、管路：3.8km	仙台市	平成6年	平成9年

出典：仙台農業振興地域整備計画書 平成21年11月

表 6.2.4-14 農村生活環境施設整備計画

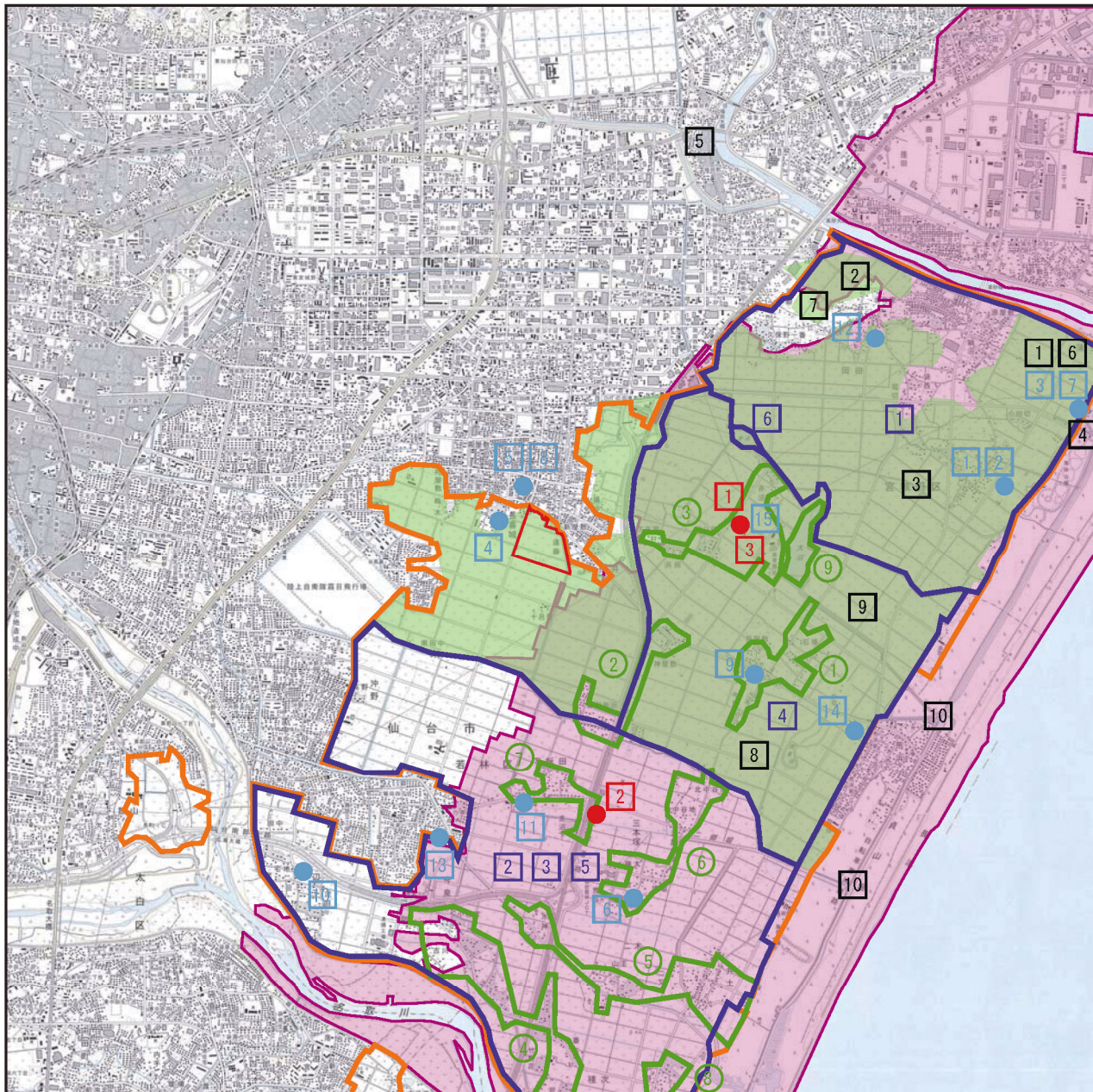
番号	事業の種類	事業の概要	受益地区	受益面積
9	用水改良	水環境整備	大沼	135ha

出典：仙台農業振興地域整備計画書 平成21年11月

表 6.2.4-15 農業近代化施設整備状況

番号	事業種目	受益面積	受益戸数	事業費	施設の名称		事業着工完了年度	事業主体
					名称	数量・規模		
1	大規模共同育苗施設設置事業	25	7	16,200	育苗センター	271 m ²	昭和57年度	新浜協業組合
2	地域農業生産総合振興事業	25	7	24,800	ライスセンター	33石4基	昭和56年度	新浜協業組合
3	農業生産体制強化対策事業	-	-	27,195	農産加工場	-	平成11年度	岡田地区協議会
4	大規模共同育苗施設設置事業	100	18	-	育苗センター	100ha規模	昭和46年度	長喜城育苗施設共同利用組合
5	大規模共同育苗施設設置事業	50	3	-	育苗センター	50ha規模	昭和48年度	上荒井水稻協業組合
6	大規模共同育苗施設設置事業	100	17	-	育苗センター	100ha規模	昭和47年度	三本塚結農クラブ
7	共同発酵処理機械事業	-	-	69,795	堆肥生産センター 附帯施設	1棟464 m ² 一式	昭和55年度	仙台市農業協同組合
8	生産集団機械化促進事業	20	3	9,375	ライスセンター	20ha規模	昭和49年度	上荒井水稻協業組合
9	良質米生産集団育成事業	20	6	17,600	ライスセンター	33石3基	昭和56年度	笹屋敷水稻施設共同利用組合
10	土地利用型集団営農推進対策事業	20	7	16,834	ライスセンター	33石3基	昭和53年度	日辺機会利用組合
11	高位生産営農特別促進対策事業	26	7	23,644	ライスセンター	32石4基	昭和59年度	下飯田水稻協業組合
12	良質米中核集団育成事業	25	7	24,100	ライスセンター	33石3基	昭和61年度	下岡田水稻協業組合
13	野菜集団産地育成事業	248	160	17,160	集出荷所	1棟231 m ²	昭和56年度	仙台市農業協同組合
14	農業経営基盤強化支援対策事業	60	1	99,476	ライスセンター	1棟	平成8年度	農事組合法人荒浜農産
15	農業生産体質強化総合推進対策事業	520	-	248,950	カントリーエレベーター	-	平成10年度	仙台農業協同組合

出典：仙台農業振興地域整備計画書 平成21年11月



出典：仙台農業振興地域整備計画書 平成 21 年 11 月

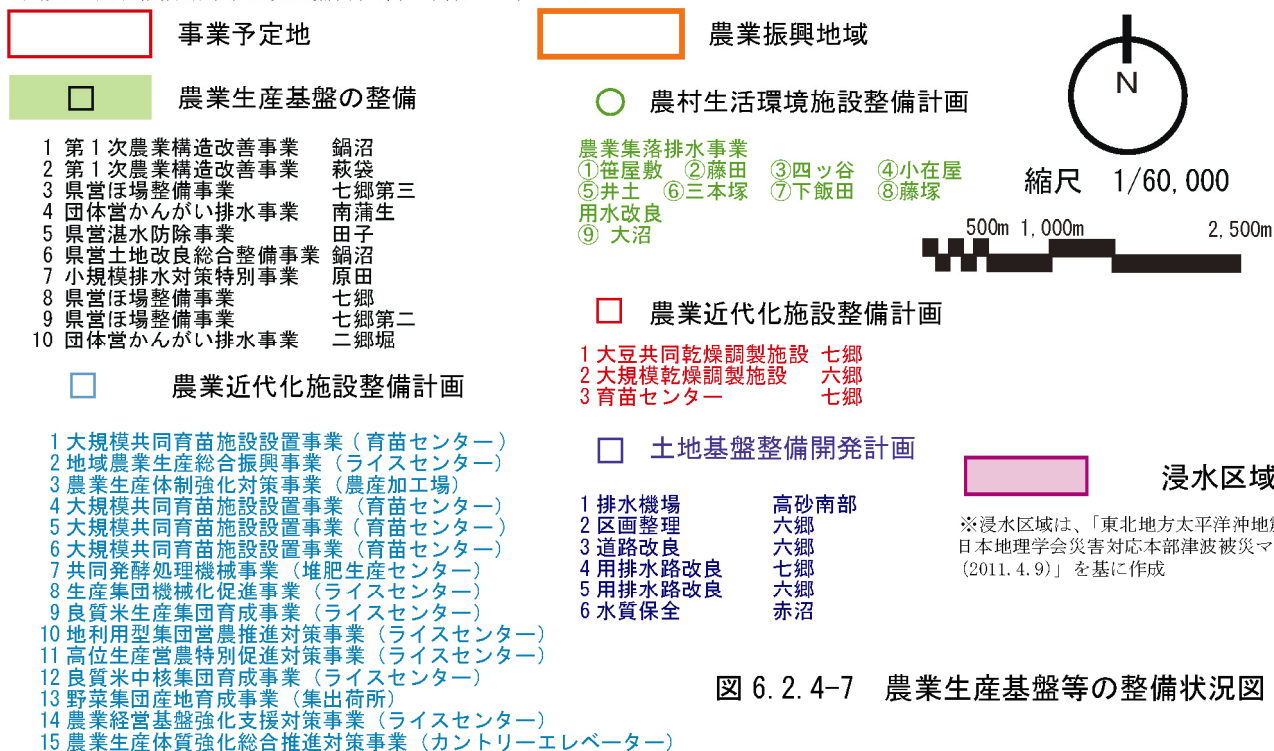


図 6.2.4-7 農業生産基盤等の整備状況図